

## 青年神社

ここに建てられている墓石、記念碑、五重の塔は、薩摩藩の武将にして、剣術のタイ捨流の師でもあった頼娃主水（えいもんど）を追悼したものです。激しい口論の末、薩摩藩主から切腹を命じられた主水は、支援者により密かにここ平内へと流されました。ここでは11年間暮らしましたが、隠れていることが見つかり、1621年には切腹を申し付けられ、命を絶ちました。頼娃主水の逸話は、たとえ最高位の家臣でも権利が制限される藩制度にあって、その時代に生きる厳しさを伝えるものとして、現在でも語り草になっています。